

神戸大学石川研究室 2005 年度前期自主授業評価

実施日 2005 年 5 月第 4 週（おおむね 6/13 回終了時）

石川慎一郎 [ishikawashin@anet.ne.jp](mailto:ishikawashin@anet.ne.jp) <http://www11.ocn.ne.jp/~iskwshin/>

## 1. はじめに

大学主導で行われる期末授業評価は肝心の当該授業へのフィードバックができないことに疑問を持ち、学期途中で自主的に行ってきた授業評価（無記名，満足度スコア，満足点・不満点・改善点を記載させる）も今年で 6 年目に入りました。

同一条件でデータが蓄積され、今では研究室の重要な「授業振り返り」の資料となっています。2005 年度前期の結果を公開します。

## 2. 概況

時間帯	クラス名	平均満足度スコア
月 3（海事 1 年）	Oral 1A	7.8
月 4（工学 1 年）	Oral 1A	8.2
金夜 1（夜間主経営 1 年）	Reading 1A	7.2
金夜 2（夜間主経済 2 年）	Reading 2A	7.4
4 クラス平均		7.7

全受講生を対象にした満足度調査の結果、平均スコアが 7.7 となり、2004 年度前期授業の前半部については一定の支持を得たと思われます。

例年はオーラルクラスが高く、リーディングが低いという傾向があり、昨年度後期例では、オーラルの平均が 8.2，リーディングの平均が 6.9 でした（研究室ウェブページ参照）。オーラルは大学に入って初めて学習する者も多く、満足度が高くやすいと思われます。

しかし、今回の調査では両者の差がだんだんとそろってきました。リーディング授業の満足度を上昇させることが課題であったわけですが、授業の単調さを軽減するため、グループワークを導入したり、リスニングなどの要素を組み込んだりして、授業をある種のジェネラルイングリッシュに近づける方針をこのところ採用しています。今回の調査を見ると、この方針はある程度有効のように思われます。

## 3. 個別結果

### 3.1 月曜 3 限（海事科学部 1 年）

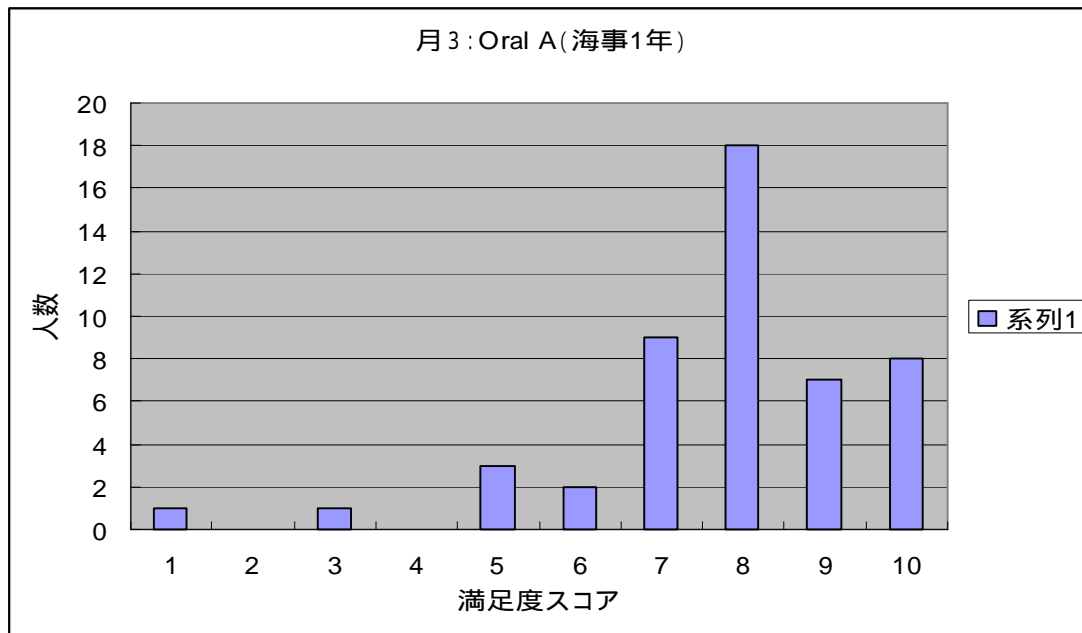
使用教材 Top of the Pops Listening (Macmillan)

授業概要 発音変化パターンをカタカナで指導し、学生ひとりひとりに発音させて自然な英語の発音と聞き取りを指導。聞き取りには英米ポップス音楽を利用。

回答者数 49 名

満足度平均点 7.8 点

満足度スコア分布



#### 満足点

教員の英語がわかりやすい 曲を聴いて穴埋めは楽しい 発音が良くなった リスニングができるようになってきた 英語発音の練習 設備(OHCなど) 先生がおもしろい 英語をやっている楽しい 授業に笑いがあふれていること 退屈しないように工夫されていること 流行の音楽を使うこと グループで協力すること 自分の発音を細かく直してくれる 先生が英語でずっと話すこと TOEICでボーナス点がつくこと 先生の説明・トーク 教科書(絵が多く良い) 明るい雰囲気 点数の付け方が明確 授業でがんばった分がそのまま点数になること 全員参加型授業 テンポがよい 音楽をリピートで何度も流してくれること 教師の毒舌 発音がとても良くなる 緊張感 会話の上達

#### 不満点

緊張しすぎて個別発音うまくできない 難しい 評価が厳しい 教室寒い 英語の出来る人が班にいないと不利 もっと発音したい 人数が多い 要求が高すぎる 教師のテンションが高すぎる グループを好きに作らせてほしい 教師の説明がわかりにくい(発音のたとえ話) リーディングの点数が厳しい 先生の歌がへた 回答のスペルミスにも厳しいこと リーディングの時間が短い 英語で説明されてもわからない グループ単位で点をつけること 発音の採点基準 教室が遠い 欠席が非常に痛い がんばっても良い点が取れない 最後のリーディングの時にその日の曲をBGMで流すのは邪魔 対応が冷たい 最初の曲の歌詞の答えが違っていた 連帯責任制 グループワークで怠ける人がいる

#### 講師コメントと後半授業への改善について

満足度 7.8 は比較的良好な数字ですが、5点以下のゾーンに複数の回答があったことが気になります。

満足点は、<テンポ良い明るい雰囲気、設備の整った教室で、歌を使って、発音練習もしながら、グループで> 勉強した点に集約されます。

一方不満点は、<発音要求が厳しすぎ、その説明が抽象的で、評価が厳しく、不平等なグループがあった> ことに集約されるようです。後半授業では、不満点の対応として、下記の措置をとります。

- ( 1 ) グループを自由メンバーに
- ( 2 ) 模擬 TOEIC スコアなど、個人別のスコアが出る機会を増やす
- ( 3 ) 希望者対象の個別発音クリニックの実施

3 2 月曜 4 限 ( 工学部 1 年 )

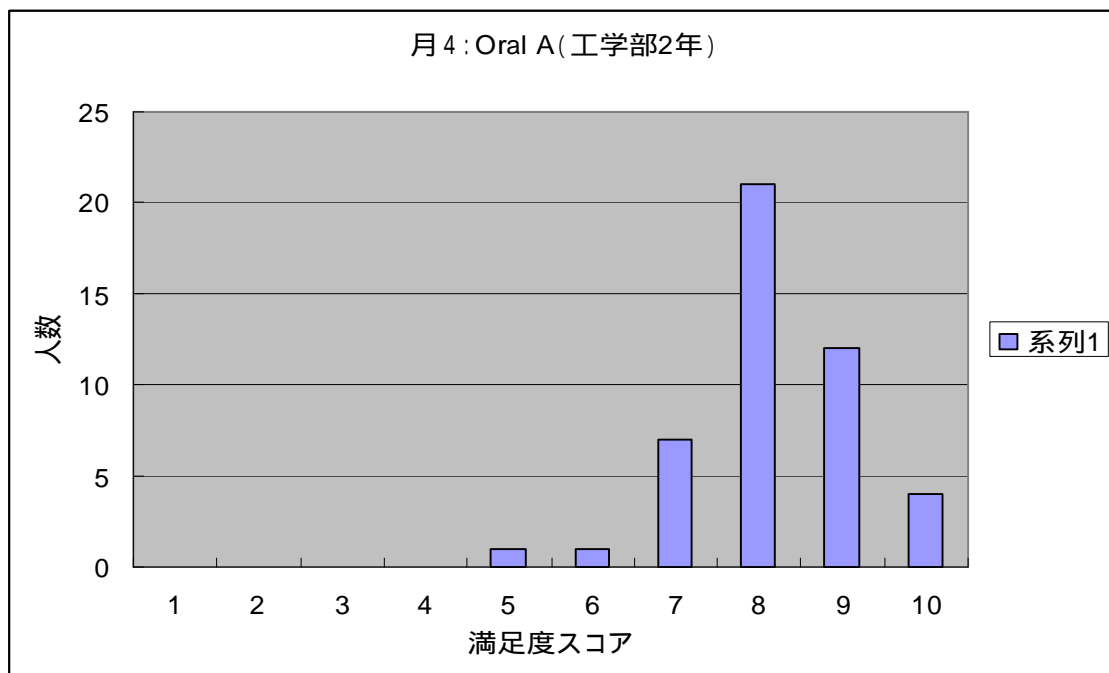
使用教材 Hot beat Listening Book2 (Macmillan)

授業概要 発音変化パターンをカタカナで指導し、学生ひとりひとりに発音させて自然な英語の発音と聞き取りを指導。聞き取りには英米ポップス音楽を利用。

回答者数 46 名

満足度平均点 8.2

満足度スコア分布



満足点 ( 同一内容多数 )

おもしろく学べる 洋楽が聴ける 発音に注意するようになった 自分で発音する時間がある 教員が英語で授業を行うこと 文法を気にしないこと 楽しい授業 音声だけでなく、最後にミニリーディングがある 毎回復習になることをする 英語を身近に感じられる 最後のポイント救済措置 ( [講師注] ヒアリングの部分は減点法で、最後のリーディングは加点で点数を処理 ) 発音の難しさを知った 教員が陽気 理系向きで合理的 テキストが良い テンションがあがる 発音がうまくなる 単調な講義ではない 発音の仕組みが理論的に説明される チーム制 教室がよい ( 空調、景色 ) ポイント制で適度な緊張感 高校にはまったくない授業スタイルで新鮮 実用的な内容 退屈しない 英語が聞こえるようになった 教員の英語がききやすくわかりやすい 自分の発音の悪い点をはっきり教えてもらえる 眠くない 教員の説明がわかりやすい、おもしろい 好きな曲

不満点

教師がからんでくる 寝られない LL でキーンとした音が出るのが不快 歌がオリジナルでない グループ人数が少ないので不利 グループ変えが少ない 難しい カタカナ発音 グループの実力が不平等 グループである意味がないのでは? 教員の英語が早すぎ

る（仏語みたい） 答案回収が早い 疲れる 教室が遠い テープをリピートするときの雑音 減点方式 授業時間帯 電磁波？ 最後のリーディングの採点が厳しい 教員のやりかた 弱肉強食制 内容多すぎ 説明の表現が抽象的でわからない 一人一人の発音に対するコメントが容赦ない 授業テンポ早すぎ 発音時のコメントもっとほしい 教室遠い 後ろの席は教師の声が届きにくい 休講が一度もない 発音練習が分担箇所だけ

講師コメントと後半授業への改善について

満足度 8.2 はたいへん良い数字が出ました。5点以下のゾーンに回答がなかったこともあわせて、おおむね前半の内容で進めていけば良いという印象を持ちました。

満足点は、＜単調にならないテンポの良さで、カタカナを使って理論的に発音のメカニズムを説明した上で、個別発音練習をしながら、音楽を使い、グループで＞勉強した点に集約されます。

一方不満点は、＜教室設備に問題があり、マンネリの実力差のある不平等なグループで、発音指導の量が少なく、内容を詰め込みすぎている＞ことに集約されるようです。教室設備の問題は大学全体の問題でもあります。ともかく申し入れを行います。

後半授業では、不満点の対応として、下記の措置をとります。

- 
- (1) グループを自由メンバーに
  - (2) 模擬 TOEIC スコアなど、個人別のスコアが出る機会を増やす
  - (3) マイクの使用
  - (4) 教室機器改善について LL 担当者に申し入れ
  - (5) 希望者対象の個別発音クリニックの実施
- 

### 3 3 金曜夜 1 限（夜間主経営学部 1 年）

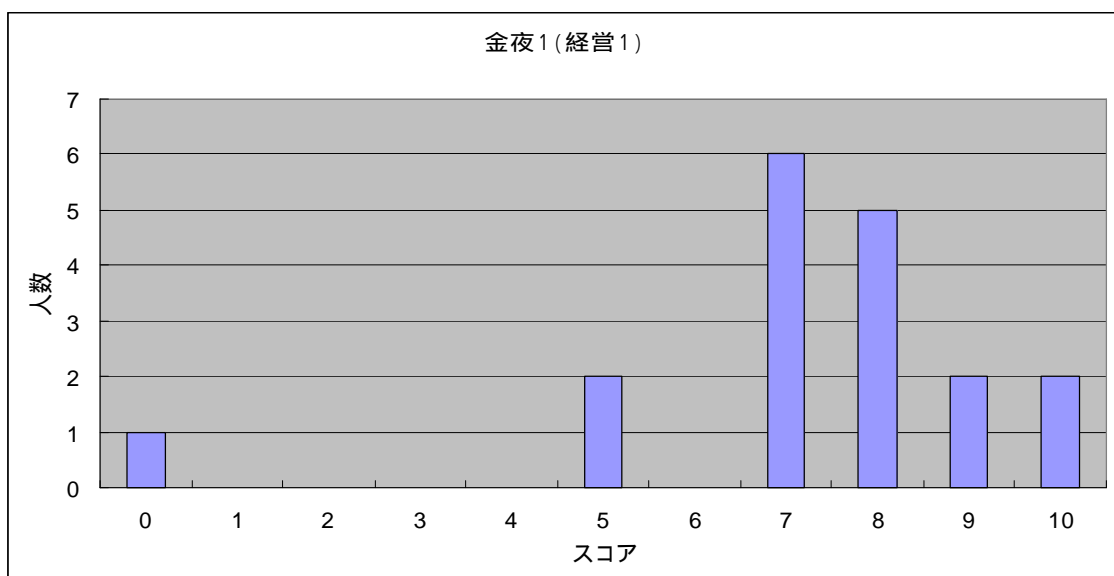
使用教材 The Powerful Reader: Basic (Macmillan)

授業概要 速読と英語による内容読解の確認。また個別の Show & Tell プレゼンを課す。

回答者数 18 名

満足度平均点 7.2

満足度スコア分布



#### 満足点

先生が英語で話す 発音がいい グループで話し合って解答 TOEIC 対策 授業おもしろい グループワークで親睦 課題・予習の量が適当 プレゼン(緊張するけど) 評価明瞭 いやでも予習をやる 授業の流れがあって退屈しない 質問しやすい ハイスピードの授業 自分で話す機会がある 一方通行の授業でないこと 少人数 授業に活気

#### 不満点

グループの英語力に差がある グループに積極的に参加しない人がいる(さぼっていても平常点をもらえる人が出る) 最初の授業がいきなり英語で理解不能 作業時間が短い スピーチ回数増やして もっと先生は英語で話してほしい あてられるのが怖い もっと話したい 聞く練習が少ない プレッシャーが大きい 個人的なことは言いたくなかった (講師)プレゼン内容について? SHOW&TELL がいや 英語力が上がったとは思えない プレゼンはやめたい

#### 要望

ぜんぜん知らない人とグループを組みたい 単語指導など TOEIC 対策もっと

#### 講師コメントと後半授業への改善について

少人数の授業であったにもかかわらず、平均スコア 7.2 はかなり低い数字です。評価が分かれたのがプレゼンとグループ制でした。プレゼンについてはもっと機会を増やしてほしい、もっと英語で話す時間を作ってほしい、という要望がおよそ 6 件程度、人前で話すのはいやなのでやめてほしいという強い批判が 3 件程度ありました。人前で話すプレゼンは好き嫌いにかかわらず、今後の実社会で不可欠な訓練であると思っておりますが、どうしてもそれを希望しない場合はパスを認めることとします(参加者にのみ増加点として処理)。グループ制については現在のこちらで決めている割り振りをやめ、自由なメンバーで組むようにしていきたいと思っております。

後半授業では、不満点の対応として、下記の措置をとります。

- 
- (1) グループを自由メンバーに
  - (2) 模擬テストなど、個人別のスコアが出る機会を増やす
  - (3) もっと話したい人を対象にランゲージハブ室の紹介を行う
- 

### 3 4 金曜夜 2 限(夜間主経済学部・法学部 2 年)

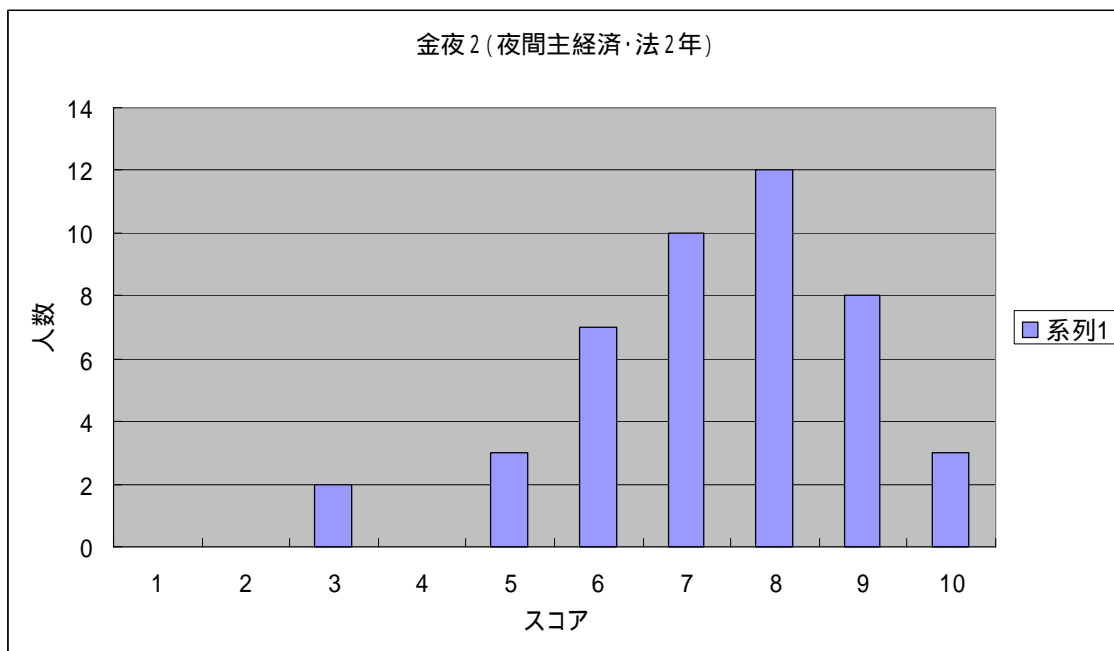
使用教材 Science in Your Life (朝日出版)

授業概要 グループワークで、自作プリントの問題に解答。速読内容読解中心。後半からは大意把握に加えて部分翻訳も追加。

回答者数 45 名

満足度平均点 7.4

満足度スコア分布



#### 満足点

先生がたくさん英語を使う 聞き取ろうと耳を傾けるようになる 答えをしっかりとってくれる 予習が楽 内容がおもしろい 今期は単位が取れそうな気がする グループ学習のため負担が軽減される 点がとりやすい ビデオおもしろい 事前準備をみなでやってグループで答えるやり方が良い カリキュラム明確で進め方も分かりやすい 余談を英語でやるのは英語に慣れる上で良い 全訳しないこと 時間がたつのが速く感じる 先生の個性 ユニークな進め方 英語を使う機会が増えた ジェスチャーの説明(“ ”) 評価明確 答え合わせの説明詳しい 問題に答える形なので訳すだけでなく内容を考える 質問への対応が丁寧 斬新 社会勉強になった 分担だと予習できる 教科書意外に簡単 競争心を煽るグループ制 授業のビジョン明確 出席考慮 英語苦手なので4人いると安心 教科書の中の重要箇所をマークさせること グループのメンバーチェンジ 機械で教科書を投影するのがわかりやすい 英語を身近に感じた 即座の答え合わせ

#### 不満点

真ん中あたりから問題が難しくなった 全然寝れない 授業中に届いた携帯が気になる 遅刻できない (解答として提出する問題が) 偶数か奇数か早く知りたい 英語の説明だけはわかりにくい グループ替え[講師注: ~が不満か, をしないのが不満か...?] 授業内容の割に課題は地味 答えが複数出るような問題がある 解答の時間が短い 開設時間が少ない 人数多すぎ 授業が終わるのが遅い 細かい部分の訳が難解 英語でなくクイズ風の問題が出ること チームにいい加減な人がいたら大変 時間がない グループが自分で決められないこと 1回目の授業にも出席点がついたこと 日本語でしゃべってほしい リスニングとかやめほしい もっと簡単に 先生の英語が早すぎて聞き取れない 最初に英語でガイダンスをしたのでオーラルかと思った.びっくりさせないでほしい グループなので真の実力がどうか不明 班が変わってしまうこと 訳があまりされないこと プリント回収する時間を前もって言ってほしい 班は自由に決めたい シビアすぎるポイント制 リーディングなのにリスニングもある 英語で「これあってる」が聞けなくなったこと 他人の力をその人の評価点数に入れる 英語の発音 きれいな女性の教官じゃな

い 予習が大変すぎる 毎回宿題があること 努力すれば単位はほしい 英語を聞く時間が少ない 教科書の挿絵が意味不明 後半になって難しくなりすぎた 遅刻が許されないが、仕事の都合などの事情が考慮されず融通がきかない

講師コメントと後半授業への改善について

満足度 7.4 ということでまずは前期のやり方が支持されたものと理解しています。ただ、5点以下のゾーンに数件の回答があったので、改善点も多いようです。

満足点としては、**<授業の目標と方法および評価が明確で、教員が英語でテンポ良く授業を進め、グループで協力して問題を解き、最後に詳しい解説を行う>**というあたりに集約されます。

一方不満点は、**<グループ間に実力差が存在し、個人の力量・努力が正確に反映されず、教師が杓子定規に遅刻に厳しく、大量の予習を課し、リーディングでありながら訳読をあまりしないでむしろリスニングなどに傾斜し、学生を時間に追い立てている>**ことに集約されるようです。

後半授業では、不満点の対応として、下記の措置をとります。

- 
- ( 1 ) グループを自由メンバーに
  - ( 2 ) 模擬 TOEIC スコアなど、個人別のスコアが出る機会を増やす
  - ( 3 ) 解答の提出時間を前もって定める
  - ( 4 ) 翻訳型問題を必ず数問加えるようにする[対応済み]
  - ( 5 ) 説明の時間の確保を目指す
-

## 神戸大学石川研究室 2005 年度後期自主授業評価

実施日 2005 年 12 月第 1 週（おおむね 7/13 回終了時）

石川慎一郎 [ishikawashin@anet.ne.jp](mailto:ishikawashin@anet.ne.jp) <http://www11.ocn.ne.jp/~iskwshin/>

### 1. はじめに

大学主導で行われる期末授業評価は肝心の当該授業へのフィードバックができないことに疑問を持ち、学期途中に自主的に行ってきた授業評価（無記名、満足度スコア、満足点・改善点を記載させる）も今年で 6 年目に入りました。

同一条件でデータが蓄積され、今では研究室の重要な「授業振り返り」の資料となっています。2005 年度後期の結果を公開します。

### 2. 概況

時間帯	クラス名	平均満足度スコア
月 2（工学部）	Reading	7.8
水夜 1（経済学部）	Oral	7.6
木 1（法学部）	Oral	7.7
木 2（工学部）	Oral	7.6
05 後期 4 クラス平均		7.7
cf) 05 前期 4 クラス平均		7.7

全受講生を対象にした満足度調査の結果、平均スコアは 7.7 となり、2005 年度後期授業（前半部）については一定の支持を得たと思われます。

かつては、オーラルが高く、リーディングが低いという傾向があり、2004 年度後期例では、オーラルの平均が 8.2、リーディングの平均が 6.9 でした（研究室ウェブページ参照）。これは、オーラルは大学に入って初めて学習する者も多く、満足度が高くでやすいためと思われます。

しかし、今回の調査では両者の差がそろい、わずかですが、むしろ Reading のほうが高い値が出ました。この原因としては、(1) Reading は同一の教科書を使い始めて 2 年目なので、授業運営に慣れたこと、(2) 英語力が比較的均質で、まじめに授業に取り組む学生の多い工学部が対象となったこと、などが考えられます。

リーディング授業の満足度を上昇させることはここ数年の課題であったわけですが、問題数を減らして、解説の時間を増やす、授業の単調さを軽減するため、グループワークを導入する、などの方策が一定の効果を上げたように思われます。



## 神戸大学石川研究室 2005 年度後期英語中間授業評価アンケート結果

月曜 2 限 Reading (工学部 1 年)

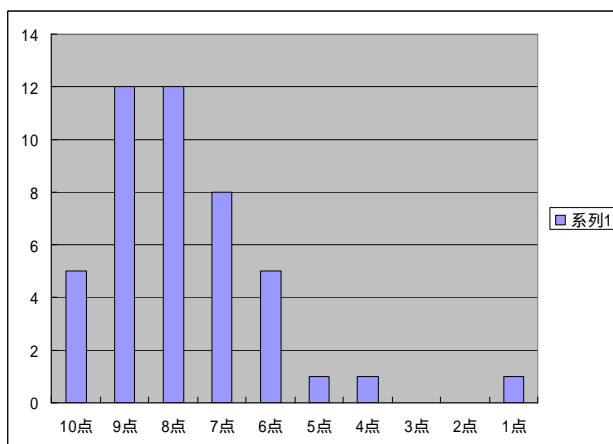
使用教材 Science in Your Life (朝日出版)

授業概要 グループワークで、自作プリントの問題に解答。速読内容読解中心。

回答者数 45 名

満足度平均点 7.8

満足度スコア分布



**満足点** ワークショップおもしろかった 解説がいい 講師が英語で話すこと 黒板中心の授業ではないこと 班で仲良くなれること グループワーク テーマが理科系なので 予習負担が軽いので 教科書のレベルがちょうどいい 授業中はなせるのでストレスがたまらない 点数が明確 予習しやすい 授業に集中できる 気が抜けないので予習の励みになる 質問を英語でしないといけないこと 大学に入ってやらなくなっていた英語をまたやらされるようになった 授業中も頭をつかうこと 英語を読むのが早くなった T O E I Cで増加点をくれること 少数のグループ制 眠くない 退屈でない 活動的 ゲーム感覚 1回で話題が完結すること 最後の答え合わせ 自然に予習するようになる 文を訳すだけでなく理解することに重点を置くこと 考える問題が多い トリビア的な話 グループなので苦手でも大丈夫 説明が詳しい 読む量が適度

**不満点** 早めに予習をすると細部を忘れてしまう 分担すると自力でできないところが出てくる 問題が難しい 解説がせわしない 教師が回るときに手を挙げてもきてくれない 六花亭の筆箱 一度休むと次行きにくい 奇問がある 英語が早すぎる 遅刻に厳しすぎる 自分のところしか予習しなくなる 解説をもっとゆっくり 解説が早くて答えを写しきれない 日によって回答する場所を変えること 英語でのいじめ 内職ができない 予習しんどい グループの他の人に迷惑をかけるのがつらい 連帯責任 デイバートの皇室の話題は興味がなかった 予習がしんどい 休むと仲間に迷惑をかける 科学の話に偏りすぎ 問題が時にあいまい 班を回るときは後ろからも 拳手優先で 日本語のようにゆっくり英語を話してほしい 作業時間が短い 英語が聞き取れず、指示がわからない 回答の基準が厳しすぎる 毒舌だ 点がシビアすぎる 質問を聞きに来るのが早すぎる 5分遅刻で入れてもらえなかった 教科書が値段が高い 個人の点数をもっと反映してほしい

### 講師コメントと後半授業への改善について

全体ではまずまずの評価でしたが、<グループを回るとき回り方・解説時間の確保・英語を話す速度・遅刻への対応・個人別タスクの導入>については、不満点として認識されていることがわかりました。残りの授業についてはこの点に配慮したいと思います。なお、遅刻厳禁については理解をお願いします。

神戸大学石川研究室 2005 年度後期英語中間授業評価アンケート結果  
水曜夜 1 限 Oral ( 経済学部 1 年 )

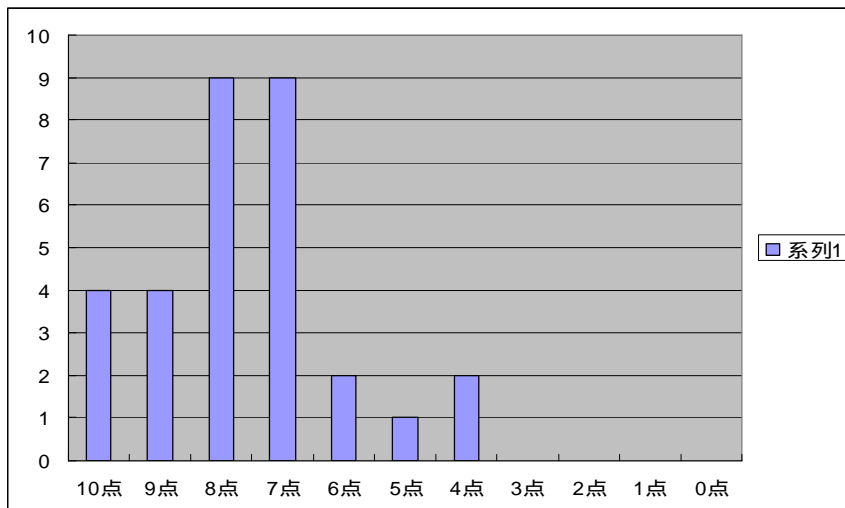
使用教材 Top of the Pops Listening (マクミラン)

授業概要 発音変化パターンを論理的に指導し、学生ひとりひとりに発音させて自然な英語の発音と聞き取りを指導。聞き取りには英米ポップス音楽を利用。

回答者数 31 名

満足度平均点 7.6

満足度スコア分布



#### 満足点

テキストおもしろい Sound Check 有益 歌が聞けた 先生がおもしろい ためになる 英語の発音がわかった 楽しく授業を受けられる カタカナで発音を書いてもらってわかりやすい グループなのでプレッシャ少ない 先生の話が興味深い 発音が理論的 オーラルらしい授業 実践的 発表が多い 洋楽が聴ける 先生が優しい 発音矯正 出席重視 退屈しない 説明に英語と日本語うまく使い分けること 先生が熱意がある ワークショップの企業のビデオ 授業展開が退屈しない

#### 不満点

グループディスカッションをもっと 皆の前で発表するのが苦手 自分の実力がついていっていない テキストの値段が高い 考える時間が少ない 先生の質問が怖い 揚げ足をとられた 皆で考える時間が少ない Show & Tell はきらい もっと話す機会を 遅刻厳しすぎる 採点が減点方式であること 会話を減らしてリスニング重視に 不意に当てられる 個人に対するつっこみが強すぎる グループ差があって不公平 疲れる カタカナ英語 グループの連帯責任 曲が古い 人を選ぶクラス 恥ずかしい カタカナで書かせるとよけいに発音ができなくなるおそれがある 「日本語は使用不可」といったのに日本語を使っている

#### 講師コメントと後半授業への改善について

全体ではまずまずの評価でしたが、<カタカナの使用・個人への関わりの強さ・採点が厳しいこと>などについては、不満点として認識されていることがわかりました。遅刻については全体のルールとしており、ご理解をお願いします。また、カタカナ発音を奨励しているわけではなく、論理的に発音のメカニズムがわかっているかどうかを確認するために使っているつもりですが、一層の説明を心がけます。

神戸大学石川研究室 2005 年度後期英語中間授業評価アンケート結果  
木曜 1 限 Oral ( 法学部 1 年 )

使用教材 Top of the Pops  
Listening (マクミラン)

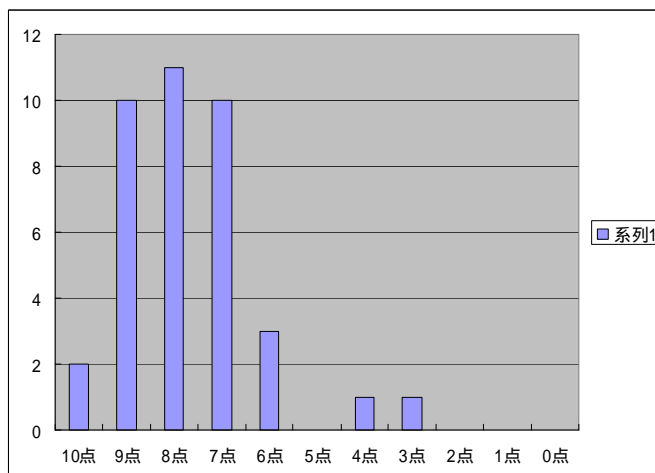
授業概要

発音変化パターンを論理的に指導し、  
学生ひとりひとりに発音させて自然  
な英語の発音と聞き取りを指導。聞  
き取りには英米ポップス音楽を利用。

回答者数 38 名

満足度平均点 7.7

満足度スコア分布



満足点 英語を話す機会が多い グループワーク 成績評価が明瞭 題材 自分をさらけだせる 早起する期になれる 雰囲気がよい 発音が良くなった リスニングの練習にもなる 先生の話 発音の仕組みがわかった 授業の多くが英語で行われたこと 先生の英語 習ったことが役に立ちそう 自分でやってるCNNのリスニングが聞き取れてきた 授業のテンポ 教科書の前のミニトーク 英語で話すことにもなれた 勉強っていう感じでなくてよかった 曲を繰り返して聞くこと 短いセンテンスで集中的に発音を習うこと 宿題がないこと 授業に参加できる 自分の発音に率直な評価があること 責任感があること 教材がよい CDが良い 次々やるのがあって充実感がある 人のスピーチを聴く スピーチ指導 理論的 一人ずつ発音を聞くこと 同じ英文を何度も読ませること スピーチ 教科書の使い方がよかった TOEICを受けるきっかけになった 教師が意欲的 テストが2段階あってチャンスがあること 作業が常にあると眠くなったことがない

不満点 1限であること 時間に厳しすぎる ラブソングばかりで独り者にはつらい 発音の練習が励みになる グループ得点制 先生が少しいやみったらしい プレゼンの人数が多いので授業の最後が駆け足になる 皆の前で発音するのはいや 発音が地味と言われて傷ついた 遅刻しないように鍵をかけること 成績の付け方の説明を詳しく 第1回目のイントロの時の印象が悪すぎた スピーチは授業の真ん中より最初がいい(気になるので) 誕生日での班 ディベート 遅刻に厳しすぎる(6:20に電車に乗るが、事故多し)、授業の内容を補完する教材などがほしい ポイントをはっきりして板書してほしい 鍵は最後までかけるべき(フェアにするため) 先生のたとえが意味が不明 授業ののりについていけない 席は教師のほうで決めてほしい(初回) テスト内容が不明で安心できない 授業内容がマンネリ化してきた グループによって不平等 発音をカナで表すこと 発音が大げさ 前の人ばかり当たる ディスカッションなどもいれてほしい テスト対策が不安 点数がシビア カナ発音はいや 答えを相談する時間が短い 席替えの理念がよくわからない スーツの色の組み合わせがおかしい 遅刻に理由を聞いてほしい 席を固定するときは欠席者への配慮を グループ制だが一人でやっているのとかわからない グループ制をもっと上手にいかすべき グループの連帯責任を変えてほしい もっとしゃべる機会を 発音はきれいな方がいいが、コミュニケーションなのでもっと気にせずやればいい(なまりは絶対悪ではない)

講師コメントと後半授業への改善について

全体ではまずまずの評価でしたが、<ディスカッションなどの導入・解説時間の確保・英語を話す速度・遅刻への対応・すべてグループで決まること>については、不満点として認識されていることがわかりました。残りの授業については下記のような対応を心がけたいと思います。なお、遅刻については、全体のルールとしており、すみませんが、ご理解をお願いします。

神戸大学石川研究室 2005 年度後期英語中間授業評価アンケート結果  
木曜 1 限 Oral ( 法学部 1 年 )

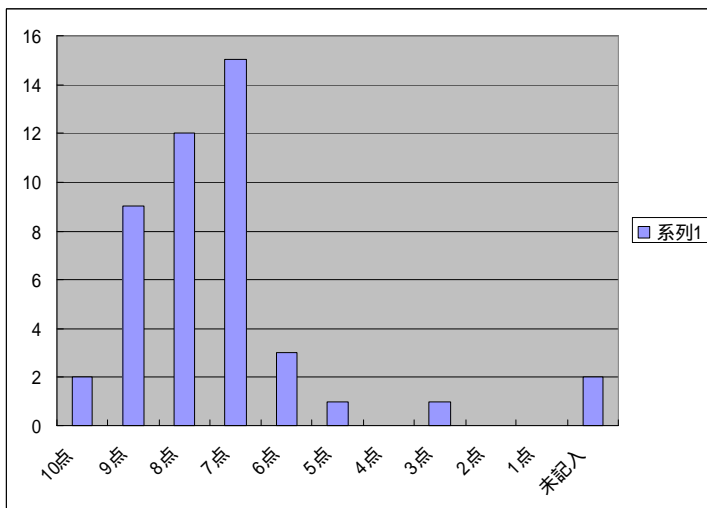
使用教材 Top of the Pops Listening (マクミラン)

授業概要 発音変化パターンを論理的に指導し、学生ひとりひとりに発音させて自然な英語の発音と聞き取りを指導。聞き取りには英米ポップス音楽を利用。

回答者数 45 名

満足度平均点 7.6

満足度スコア分布



#### 満足点

今までにない形態、眠気を感じない、きれいな英語の発音を学べる、あまりやっていない発音を重点的に指導、洋楽が聴き取れるようになった、講師の話、TDL などのルール、個人発音練習、のりがよい、発音のルールをいろいろ学んだ、グループで相談してできる、ディベート、授業っぽくない、役立つ、発音のリエゾン、授業の雰囲気が良い、平常点を公開する、私語が少ない、洋楽を聴くこと、聞き取りがうまくなる、発音が上達した、曲がいい、ワークショップよかった、ネイティブの発音が理解できた、授業の進め方が新鮮、自然な英語、実践的、予習不要、堅くない、知らないことばかりで役立つ、わかりやすい、指導は丁寧、英語を棒読みしなくなった

#### 不満点

何も無いのに「先週何があった？」と聞かれること、平常点がなかなか取れない、減点法がきつい、遅刻に厳しい、カタカナで発音を考えること、教科書忘れの減点がきつい、遅刻は 10 分まで OK にしてほしい、聞き取りの時間が足りない、たまには映画など、教師がまれに遅刻、教師のテンションが高すぎる、1 回の授業に詰め込みすぎ、答えを各時間が短い、リスニングの文を先生が読む、皆の前で発音するとき緊張する、グループが固定化、少しの練習でうまくなるはずがないのに採点する、午前中なこと、グループによって点がまちまち、班分けは友達同士のほうがよい

#### 講師コメントと後半授業への改善について

全体ではまずまずの評価でしたが、<カタカナの使用・遅刻に厳しい・答える時間が短い> などについては、不満点として認識されていることがわかりました。遅刻については全体のルールとしており、ご理解をお願いします。回答時間の確保については、留意したいと思います。また、カタカナ発音を奨励しているわけではなく、論理的に発音のメカニズムがわかっているかどうかを確認するために使っているつもりですが、より一層の説明を心がけます。